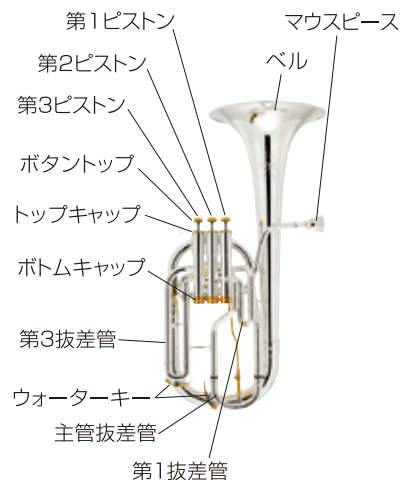


TENOR HORN

テナーホルン



EUPHONIUM

ユーフォニアム



BARITONE

バリトン



■銀めっき仕上げについて

めっき加工されている金属部分は、その性質上ご使用にともない変色、摩耗します。

また、ゴム製品、石油製品、排気ガスや火山性ガスに含まれる硫化ガスにより変色することがありますが、ご使用には影響ありません。

金属の腐食、摩耗が激しい場合は、お買い上げ店または弊社テクニカルサポートへご相談ください。

■ラッカー仕上げについて

ラッカー塗装の材質は樹脂のため、ご使用にともない摩耗したり、剥離する場合があります。また、経年変化により金属が変色する場合があります。

いずれの場合もご使用には影響ありませんが、金属の腐食・摩耗が激しい場合は、お買い上げ店または弊社テクニカルサポートへご相談ください。

■ご注意ください

- 本来の用途以外に使用しないでください。
- 小さな部品を誤飲する恐れがあるため、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 針のように鋭い部品を使用していますので、取り扱いには十分注意してください。
- 破損がある場合は、使用を中止してください。

BUFFET CRAMPON

株式会社 ビュッフェ・クランポン・ジャパン

〒135-0016 東京都江東区東陽4-8-17

TEL.03(5632)5511 FAX.03(5632)5526

ショールーム TEL.03(5632)5728

テクニカルサポート TEL.03(5632)5524

営業時間 10:00~17:30(日・月曜日、祝日定休)



銀めっき仕上げ



ラッカー仕上げ

取り扱い説明書

〈ベッソン〉

テナーホルン バリトン ユーフォニアム



BUFFET CRAMPON



〈ベッソン〉
www.besson.com/ja/

※営業時間は天候災害、社会情勢の変化に伴い変更する場合がございます。
最新の情報はブランドウェブサイトをご確認ください。

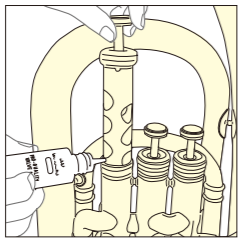
■演奏前の準備

【バルブオイルの注油】

【ピストン】

1. トップキャップを外し、ピストンを途中までまっすぐぐっくり抜きます。
2. ピストンにバルブオイルをさします。
3. ピストンをバルブケーシングに戻します。

トップキャップを締めた後、数回ピストンを上下させ、バルブオイルをなじませます。



ピストンはまっすぐ真上から押してください。

ピストンは、ななめの方向から押すと動作不良の原因となります。まっすぐ真上から押してください。

【マウスピースの取り付け】

マウスピースを軽く差し込みます。

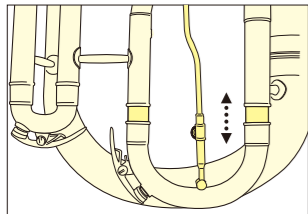
強く差し込むと抜けなくなることがあるので注意しましょう。

■ピッチの調整

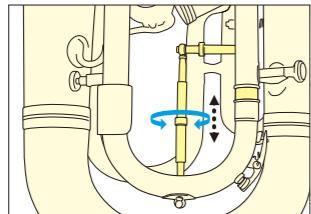
ピッチの調整は、各抜差管をスライドさせて行います。

ピッチは気温に影響されるので、演奏前に息を吹き込み十分に楽器を温めてから調整してください。

テナーホルン



ユーフォニアム



演奏前の点検

ピストンフェルトなどの消耗品が劣化していませんか？

ピストンフェルトが劣化していると、金属音の原因になります。新しいピストンフェルトに交換してください。

息漏れをしていませんか？

ウォーターキーのパッドが劣化していると息漏れが生じる場合があります。新しいパッドに交換してください。

ネジ類がゆるんでいませんか？

ネジ類がゆるんでいると金属音の原因になります。ネジ類はきちんと締めてご使用ください。

▶一部の機種に主管抜差管トリガーが装備されているものがあります。

抜差管はまっすぐ抜き差し

抜差管は2本の管で構成されています。両方の管に均等な力が加わるようにまっすぐ抜き差ししましょう。特に短い管は抜きにくいので注意して抜き差ししてください。

■演奏後のお手入れ

【水抜きとバルブオイルの注油】

1. ピストンを押しながら各抜差管を取り外し、管内の水分を十分に抜いてください。
2. 演奏前と同様に、ピストンにはバルブオイル、ロータリーにはロータリーオイルをさしてください。

【楽器表面のお手入れ】

楽器の表面をクリーニングクロスでやさしく拭いてください。

■定期的なお手入れ

【ピストンとバルブケーシングのお手入れ】

1. トップキャップを外しピストンを抜き取ります。ボトムキャップも外します。
2. クリーニングロッドにガーゼを巻き付け、バルブケーシングの内側の汚れを拭き取ります。
3. ピストンの汚れを拭き取ります。
4. 「演奏前の準備【バルブオイルの注油】3.」の要領で、ピストンをバルブケーシングに戻します。
5. ボトムキャップをバルブケーシングに戻します。

【各抜差管のお手入れ】

1. 各抜差管の古いグリスを拭き取り、新しいスライドグリスを塗ります。
2. 抜差管にグリスをなじませるように、2～3回スライドさせてください。

▶ピストンとバルブケーシングはミクロン単位による精密な加工により制作されています。お取り扱いには充分ご注意ください。ピストンとバルブケーシングに汚れがたまると動作不良の原因となります。定期的なお手入れを心がけてください。また、管内に汚れが多量にたまっていると音抜け・音程が悪くなります。手順に従って楽器を洗浄してください。

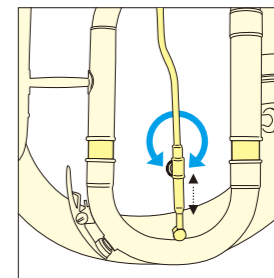
▶抜差管は汚れがたまると動きが悪くなり、固着の原因となります。定期的なお手入れを心がけてください。

【チューニングスライドトリガー付き機種の主管抜差管のお手入れ】

主管抜差管とトリガーアジャスターの連結部分は、ワンタッチで脱着することができます。

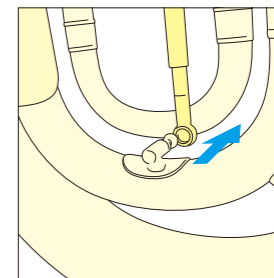
テナーホルン “プレスティージュ” BE2050

トリガーアジャスターのネジを緩め、主管抜差管を取り外し、キーオイルなどを使用してください。



ユーフォニアム “プレスティージュ” BE2051/2052 “ソヴリン” BE967T/BE968T

主管抜差管とトリガーアジャスターの連結部分は、強めの力で矢印の方向に引き抜いて、主管抜差管を取り外し、キーオイルなどを使用してください。



【マウスピースのお手入れ】

マウスピースは、マウスピースブラシに中性洗剤を含ませ、内部にブラシを通した後、きれいな水で十分に洗い流してください。

■楽器の洗浄

管内の汚れがひどい場合や、砂埃などの異物が混入した場合は、お買い上げ店または弊社テクニカルサポートへご相談ください。

取り扱いの注意

錆(サビ)に注意しましょう。

トップキャップ、ボトムキャップは水分により錆が生じやすい部分です。キャップを締めたまま長期間放置せず、定期的に開け閉めしてください。

こんな時は

お買い上げ店または弊社テクニカルサポートにご相談ください。

衝撃でゆがんでしまった。

衝撃を受けると管体がゆがんだり、可動部が変形して動作不良の原因となる場合があります。

異物が取れない。

管内にさまざまな異物(バルブオイル、クロス等)などが入り込み、取れなくなることがあります。

ハンダが外れてしまった。

ハンダが外れていると金属が共振し、異音が生じる場合があります。